

## 船舶事故調査報告書

平成24年1月19日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 石 川 敏 行  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成23年1月23日 08時10分ごろ以降における潜水作業開始後～17時00分ごろの間）
発生場所	沖縄県うるま市津堅島北東方沖 津堅島灯台から真方位062° 1,400m付近 （概位 北緯26° 15.3′ 東経127° 56.9′）
事故調査の経過	平成23年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三安莉丸、3.2トン ON3-130015、個人所有 9.65m (Lr) × 2.50m × 0.76m、FRP ディーゼル機関、51kW（漁船法馬力数）、昭和60年8月7日
乗組員等に関する情報	船長 男性 54歳 一級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士、特定 免許登録日 平成17年7月21日 免許証交付日 平成22年8月3日 （平成27年7月20日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、潜水して海底のもずく網を張り直す作業を行うため、平成23年1月23日8時10分ごろうるま市平敷屋漁港を出港し、津堅島北東方沖のもずく養殖場に向かった。 僚船の船長は、漁を終えて帰航中の17時00分ごろ、通常なら14時から15時には帰港しているはずの本船がもずく養殖場に無人で停泊していたので不審に思い、近づいたところ、水深約3～4mの海底に沈んでいる船長を発見し、他の僚船の乗組員と共に船長を引き揚げた。 船長は、病院に搬送されたが溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 3、視界 良好 海象：水温 約21℃
その他の事項	船長は、本船発見時、運転中の空気圧縮機から長さ約100mの送気ホースが本船から海中に延出されていたが、送気ホース先端のマウスピースを口にくわえていなかった。 船長は、ウェットスーツを着用し、潜水用の重りを装着していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし 不明 船長は、溺死した。 本船は、08時10分ごろ平敷屋漁港を出港し、津堅島北東方沖のもずく養殖場に到着して潜水作業を開始したのち、17時00分ごろ、同養殖場において、無人の状態で停泊している本船の付近の海底で船長が発見されたことから、この間において、潜水作業をしていた船長が溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、津堅島北東方沖のもずく養殖場において停泊して潜水作業中、船長が溺水したことにより発生したものと考えられる。	